

# 西日本インカレ（合同研究会）2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報に記載しないでください。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
フリガナ セツナンダイガク	フリガナ ケイエイガクブ	フリガナ ハタケヤマ トシヒロ
摂南大学	経営学部	畠山俊宏ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	パワーポイント内の 動画使用（有・無）
フリガナ チーム ヒヨコ	フリガナ シモイチ ナオキ	6	無
チーム ひよこ	下市 直輝		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール（具体的に使用するツールを明記してください）
パワーポイント

研究テーマ（発表タイトル）
大学生はどれだけ電子マネーを使うのか？ -アンケートによる実態調査-

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

- 1. 研究概要（目的・狙いなど）**

本研究の主目的は、大学生の交通手段以外での電子マネーの利用を調査することである。さらにサブテーマとして調査結果を基に、さらなる利用回数の向上を図るにはどのような戦略を講じればよいのかを考察し、提案することである。
- 2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）**

2001年にEdyの正式なサービスが開始され電子マネーの市場は変化を始めた。Edy開始と同じ年にJR東日本が「Suica」の発行を開始し、学生や社会人の通学・通勤方法が大きく変化した。それと同時に電子マネーを携帯する割合も大きく増加した。関西でも2003年に「ICOCA」及び「PiTaPa」が正式に導入され、利用率は増加し現在では関西圏で主に使用されている。交通系電子マネーを含む、IC型の電子マネーは、2017年9月で3億4,920万枚が累計発行され、決済件数は2017年7月に過去最多の4億8,500万件を記録した（参考文献1）。

電子マネーはサービスが開始されたころは公共交通機関やコンビニエンスストア(以下コンビニ)と限られた場所でしか使えなかったが利用者の増加とともに利用できる場所は地域を選ばず、様々な場所で使えるようになっている。
- 3. 研究テーマの課題**

前述のように電子マネーは今や学生の必須アイテムとなっているといえる。通学に公共交通機関を利用していない学生でも本

学の学生証には Edy がついており、摂南大学内(以下学内)のコンビニや食堂で利用できるようになっている。しかし、学内のコンビニは昼食時や授業の移動時間で毎日混雑し、レジに長蛇の列ができています。私たちはこの原因は現金による決済が影響していると考え、大学生の電子マネーの利用の実態を明らかにする。また、この現状を改善する方法についても提案した。

#### 4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

先にも述べたように大学内には Edy が使えるコンビニがある。学生証には Edy がついているので利用頻度を上げてもらうような宣伝やキャンペーンを行うことがよいと考える。また、電子マネー全体の利用者増加を図るためにインターネット等で PR 活動を活性化させるなどのことが考えられる。

#### 5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

学生の電子マネー利用率を調査するために、下記の概要でアンケートを行った。

アンケートの主な内容は

- ① 通学手段以外としてどの電子マネーを利用しているのか
- ② 利用している場所について
- ③ 利用する金額について

以上の3点を中心である。このアンケートから大学生が電子マネーについてどの程度関心を持っているのかを分析し、さらなる利用頻度及び利用者の増加を図るには、どのような対策が必要であるのかを考察し、提案する。

・アンケート調査の概要

対象：大学生

期間：2017年10月18日～25日

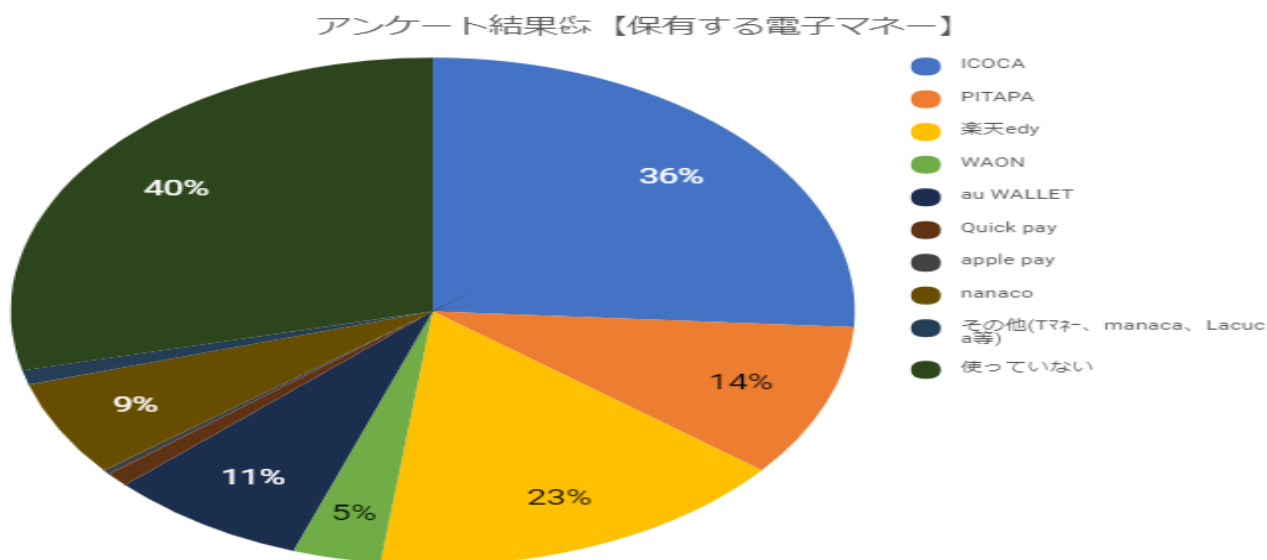
回答数：250人（有効回答数246人）

方法：Googleフォーム

#### 6. 結果や今後の取り組み

アンケートを収集した結果、約60%の学生が交通機関以外で電子マネーを利用していることが判明した(図6-1)。

図6-1 利用している電子マネーの種類



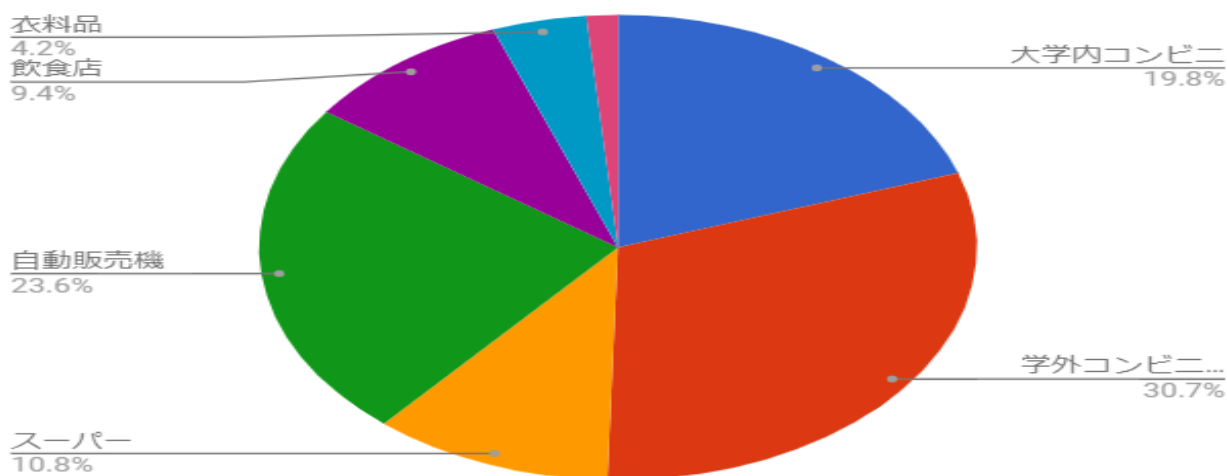
今回のアンケートの結果では、ICOCA の利用が最も多かった。この結果から学生は交通手段として電子マネーを持ち歩いているとともに、通学定期として利用する ICOCA をちょっとした買い物に利用していることが判明した。

2 番目に利用が多かったのは楽天 Edy であり、これは摂南大学の学生が中心であったためこのような結果となったと推測できる。

私たちはアンケートを取る前に予め結果の予想を立てた。チームの見解では交通手段として電子マネーを利用している学生がほとんどであると予想していた。そのためこの結果は私たちの想像を超えるものであった。

続いて学生がどのような場所で電子マネーを利用しているのかについて集計した結果が以下の図である（図 6-2）。

図 6-2 利用している場所について



学内での利用よりも学外での利用が多い結果となった。要因として本学では ICOCA を利用できるのは自動販売機のみであり、コンビニ、学食では利用できないためであると考察できる。

また、利用金額は月平均 3,042.7 円で、利用頻度は月に 5.5 回であった。

現状としては、電子マネーの利用率は ICOCA、楽天 Edy、PiTaPa を中心に約 60%ある。しかし、利用できる種類が本学では限られているために学外での利用が多い。また、30%の学生が利用に対しネガティブなイメージを抱いている。半数近くの意見が「面倒くさい」であったため、現金を予めチャージしなければ利用できない電子マネーに対し利用を躊躇っていることがうかがえる。これは使っている人にも関わることで、利用頻度、利用金額が低いのはこの点にあると推測できる。

これらの結果から考えられることは、通学定期として利用する交通系の電子マネーの利用が、学生に最も向いているということである。そのため、ICOCA の利用エリアのさらなる拡大は効果が見込まれる。

また、利用に関して躊躇する意見もあるので電子マネーについてのガイドブックなどを作成することでネガティブなイメージを払拭することができる。本学に ICOCA を導入する方法は合理的ではあるが現実的ではない。そのため、学内での Edy の利用率を増加させることが有効である。学内の Edy を利用してもらうための手段としては入学時に Edy の登録をあらかじめ済ますといった方法が有効であると考察する。そうすることで学生はより電子マネーを利用しやすくなり、コンビニの混雑緩和が期待できる。

さらにオートチャージのシステムをさらに活性化させることでよりその利用値は増加すると考える。

今回のデータは関西圏に住む学生が対象であったため、このような結果であった。関東では Suica が主流であるが、今回のデータから見える提案は応用ができると考えられる。

## 7. 参考文献

1. 日本銀行「決済動向 2017年9月」

<https://www.boj.or.jp/statistics/set/kess/index.htm/> (2017年11月6日 閲覧)

### <企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、翌年3月に公開予定の「大会結果 Web ページ」に掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更（チームの人数・交代など）は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HP などに発表されていない）ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず使用するツール名をご記入ください。企画シートにご記入が無い場合は、発表当日の使用はできません。あらかじめご了承ください。

---

↑ここまでを 4 ページ以内に収めて、提出してください↑